

第 2 回 地域づくり部会 会議概要

日 時	令和元年 7 月 18 日 (木) 午後 2 時 15 分～午後 2 時 55 分
会 場	豊栄地区公民館 視聴覚室
出席委員	澤副部会長, 神田 (征) 委員, 本間 (藤) 委員, 阿部 (勝) 委員, 山賀委員, 工藤委員, 小池委員, 菅原委員, 鶴巻委員, 村山委員
欠席委員	五十嵐部会長
事務局 関係課	区民生活課 (高桑課長、長谷川主幹)、北出張所 (川崎所長) 地域総務課 (中川補佐、小林主査、佐藤)
会議要旨	<p>1 令和元年度自治協議会提案事業「北区みんなで見守り隊」について</p> <p>工藤委員から事業の提案経緯の説明、事務局から前回の振りかえりを行いました。</p> <p>→次回部会で改めて事務局より、事業原案 (たたき台) を作成・意見交換することになりました。</p> <p>[主な意見等]</p> <p>意見交換会の開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総論では安心・安全で括られるが、子ども向けや高齢者向けとなるとそれぞれの活動は異質なものであり、そこからどのように共通項を見出すか。 ・現状の取組みにさらなるプラスアルファを求めても難しい。それぞれ見守る人々がつながり、ソフトに見守り活動が広がっていくような。 ・青色回転灯を装備した車で巡回を行っている人は、何か起きるとパトロールに連絡 (出動要請) があって大変なようだ。 ・松浜地区では防犯連携協議会があり、そこからグッズとして毎年ベストを配布している。具体的な取組みとして、主に小学 1～2 年生を対象として学校から一緒に引率しながら下校している。主要な交差点でも見守り活動を行っている。 <p>→既存の活動主体は多数あるので、新たに何かを立ち上げるというよりは、それらをつなぐ方法をイメージしている。</p> <p>各活動主体の長所や困りごとを共有し、あるいは新たな気づきを得るきっかけとして緩やかにつながる。個人・団体を問わず、有志が集ってやんわりと地域の見守り力を底上げしていくようなイメージ。事業の検討に当たり、粒揃いにまとめるのか、または、対象を絞って進めるのかといった方向性を見出していきたい。</p>

第 2 回 福祉教育部会 会議概要

日 時	令和元年 7 月 18 日 (木) 午後 2 時 15 分～午後 2 時 55 分
会 場	豊栄地区公民館 研修室 1
出 席 委 員	清水委員、神田(恭)委員、樺山委員、小林委員、平松委員、藤沢委員、中嶋委員、佐久間委員 8 人
欠 席 委 員	梅津委員、相馬委員 2 人
事 務 局	参宮副区長、川崎課長 (健康福祉課)、拝野館長 (豊栄地区公民館)、高野・深沢 (地域総務課)
会 議 要 旨	<p>○「大学生と協働！地域住民の健康と福祉を支えるまちづくり事業」について</p> <p>前回いただいた意見を踏まえ、改善した事業チラシをもとに健康福祉課長が説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8 月第 3 週の区役所だよりに掲載する。チラシを各コミュニティセンターに配置する。内容は大学が中心に決めている。学生は介護コースの 2 年生がかかわる。 ・ 申し込み多数の場合、追加開催はあるのか。 <p>→今のところ考えていない。会場の制約などもあり、状況を見て検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員の見学は可能。参加したい方は地域総務課で取りまとめるので連絡してください。 <p>○「すべてのママ・パパ応援プロジェクト」について</p> <p>資料を基に事務局が説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象を広げると冊子の活用方法も広がる。自治協議会で作成するのであれば、難しいかもしれないが今までにないものを作るべき。 ・ 直接ママたちに説明したいのであれば、茶話会的なものかどうか。 ・ 母親への配布物や講座はたくさんある。周りの人 (パパ、祖父母) への「いい声かけの仕方」などを学んでもらってはどうか。 ・ スマホについては、使うなというほうが無理なので上手な付き合い方を入れた方が現実的。 ・ たたき台があったほうが議論しやすい。 <p>→内容検討は今回も含め 4 回。委員の皆さん自身の「これだけは載せたい」内容を事務局までメール、ファクスなどで連絡する。それにもとづき事務局でたたき台を作成する。</p>

第 2 回 自然文化部会 会議概要

日 時	令和元年 7 月 18 日（木曜） 午後 2 時 10 分～午後 2 時 50 分
会 場	豊栄地区公民館 研修室 2
出席委員	阿部(美)部会長、本間(久)副部会長、赤間委員、松田委員、黒川委員、皆川委員、渡邊委員、本田委員
欠席委員	原委員
事務局 関係課	菊地建設課長、山際産業振興課長、田代北区文化会館長、地域総務課(本田課長補佐、高田)
会 議 要 旨	<p>1「子どもと音楽の出会い創出事業」について</p> <p>詳細な事業概要や進捗状況を報告しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治協議会委員には、事業の提案者としてご意見や評価をいただきたい。 <p>[北区文化会館 田代館長]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日実施するアンケートは、次回の部会までに北区文化会館の方で案を用意するので、内容等を部会で確認・修正してほしい。 ・子どもたちが参加できるコンサートにする予定。 ・今後も大谷康子さんと打ち合わせを重ね、具体的なプログラム等を決めていきたい。 ・地域の方の参加について検討した結果、やはり子どもたちに音楽を聴かせることが目的の事業であるため、参加は控えてもらう。 ・自治協委員には、当日はにこやかに子どもたちを迎えてほしい。 <p>[主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日はプログラムを配布する予定はあるのか。 <p>2「潤いの福島潟創出事業」について</p> <p>7 月 17 日（水）に行われた福島潟視察及び「潟ツーリズム推進事業第 1 回研修会」の振り返りを行いながら、実際に福島潟を視察して感じたことやあったら良い思ったものなど、潤いの福島潟創出のための意見交換を行いました。</p> <p>[主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禁止事項の看板が多いので、できること(例：ウォーキングができる)を記載した看板を作製・設置してはどうか。 ・福島潟周辺には日影が少ないため、日影を確保するために、植樹やパラソル付きの休憩場所などを設置するのはどうか。